物品管理・貸出システム「KadaKashi / カダカシ」

藤沢 勇汰
香川大学 教育・学生支援部 学生生活支援課

1．背景

・複雑な物品管理
⇒ 学生生活支援課では多くの貸出物品を管理しており、すべての物品の情報（在庫・保管場所・使用期限等）管理が困難だった

・貸出可能物品や貸出状況に関する情報の不足
⇒ 借用希望者は、借用希望の度に問い合わせを行う必要があった

・煩雑な借用手続き
⇒ 紙の借用書に記入し、窓口に提出する必要があった

・紙の借用書や貸出簿によるアナログな貸出状況管理
⇒ 貸出期間の重複や未返却等の人的ミスの原因となっていた

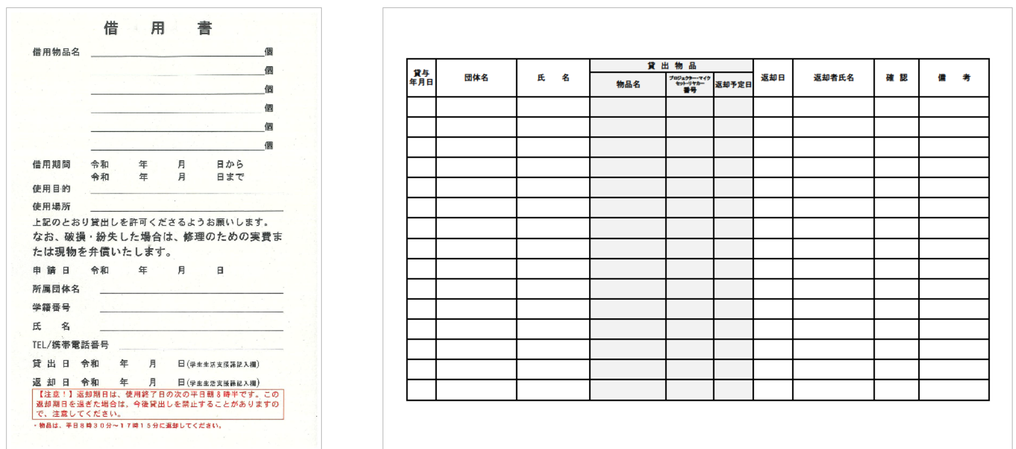

図　紙の借用書・貸出簿

2．システム概要

①担当者が物品管理システムに必要な情報を入力し、物品を登録すると、登録した物品が画像付きでリスト化される

②借用者はリストで貸出可能物品を確認した後、物品貸出システムで借用希望物品を選択し、借用申請を行う

③担当者は申請通知に対して「承認」「否認」を選択する

④借用者に承認結果が通知される

⑤貸出状況はデータベースに保存される

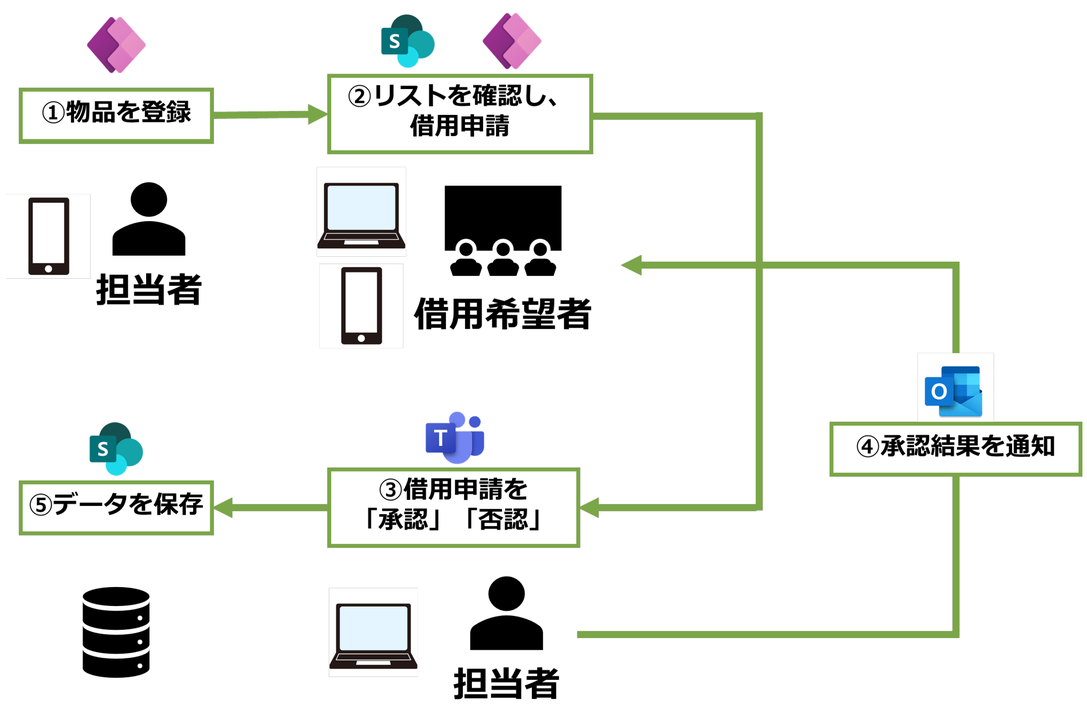

図　物品管理・貸出システム
「カダカシ / Kadakashi」の概要

3．効果

・容易な物品管理
⇒ 必要な項目に情報を入力するだけで登録が完了するため、登録者が異なっても統一された物品リストの作成ができる

・貸出可能物品や貸出状況に関する情報の充実
⇒ SharePointにアクセスするだけで、貸出可能物品リストを閲覧できる

・フレキシブルな借用手続き
⇒ 時間や場所にとらわれず画面上で借用手続きが完結する

・SharePointによるデジタルな貸出状況管理
⇒ 検索やフィルター機能で正確な記録・追跡ができる

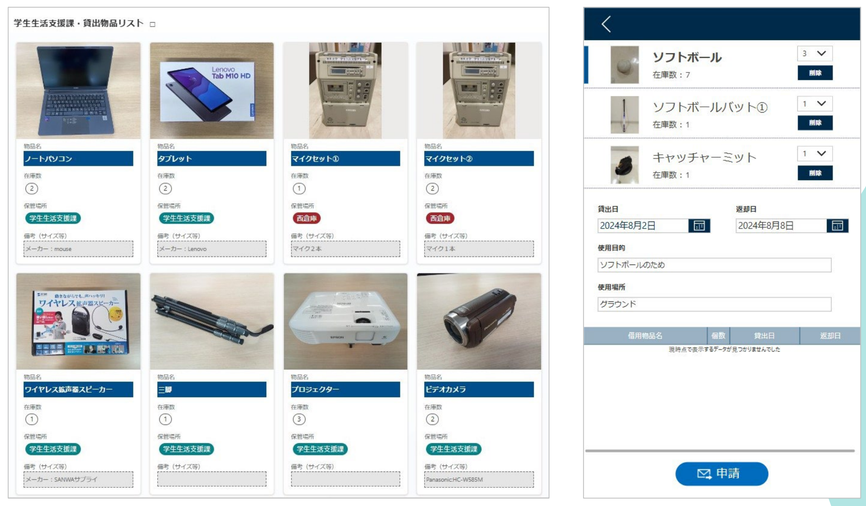

図　物品管理・貸出システム
「カダカシ / KadaKashi」

4．今後の展望

・システムの学内周知
⇒ 貸出可能物品リストを大学HPに掲載※し、システムの利用を促す　※物品貸出システムは運用に向け、最終調整中。
香川大学｜拾得物・遺失物・貸出物品
https://kagawaverif.sharepoint.com/sites/gakusei_buppin/Lists/List1/view.aspx

・大学や地域への展開
⇒ 物品管理は大学内外で発生する業務であり、システムの再現性がある
⇒ 物品管理以外の事例にも活用が可能であり、システムの汎用性が高い